

所

BULLETIN

版

DE LA

有

SOCIÉTÉ PÉNITENTIAIRE DU JAPON

權

大日本監獄協會雜誌

外 號

明治二十三年四月發兌

大日本監獄協會

大日本監獄協會役員

庶務局長	正員	石澤 謹吾
調查局長	正員	宇川 盛三郎
主幹(事務)	正員	宇川 盛三郎
主幹(會計)	正員	關 長
庶務委員	正員	佐 野 尚
調查委員	正員	武 田 英一
庶務補佐員	正員	小 林 益三郎
庶務補佐員	正員	飯 島 美敬
出版主任	正員	寺 井 宗平

明治廿三年三月廿五日版權所有
 明治廿三年四月廿九日印刷
 明治廿三年四月三十日出版

發行兼編輯者

東京牛込區神樂町貳丁目二十二番地

佐 野 尚

印刷人

東京淺草區並木町二十二番地寄留

寺 井 宗平

發行所

東京牛込區北町拾五番地

大日本監獄協會事務所

(通信省認可)

(東京並木活版所印行)

監獄官練習所設立ニ關スル清浦警保局長演說筆記

左ノ一篇ハ本年三月廿七日清浦警保局長今回召集ノ監獄官一同ニ對シ
演述アリタル大意ノ筆記ナリ今本會雜誌ニ登載ノ許可ヲ得タレハ不取
敢號外トシテ會員諸君ニ頒ツコトトセリ

編者 白

諸君 予ハ先ツ諸君カ此度内務大臣閣下ノ訓令ニ從ヒ監獄官練習
所第一期ノ召集員トシテ此ニ無事着京セラレタルヲ祝シ十分衛生
上ニ注意シ健康ヲ保テツ、勉強セラレムヲ禱ル偕本日、諸君ノ參
集ヲ請ヒタル次第ハ兼テ諸君モ知ラル、通リ練習所ハ來ル四月一
日ヲ以テ簡素ナル開所式ノ典ヲ行フ筈ナルニ付キ其節小官モ出席
シテ練習所設立ノ趣旨ヲ開陳スル積リナリシカ昨日俄カニ愛知縣
出張ノ命ヲ受ケ終ニ其意ヲ果ステ得ス依テ本日、一同ノ諸君ニ對シ
像メ一言ヲ陳述スルノ必要ヲ認メタレハナリ

這般内務大臣閣下カ監獄官練習所ヲ設立セラレタルノ趣旨ハ監獄事務ノ改良進歩ヲ冀圖セラレタルニアルヲ勿論ナリシカ、其冀圖ヲ達スルニハ先ツ泉源ヲ潔クシテ然ル後末流ニ及ホスノ手段ニ出テラレシ譯ナリ、凡ソ事物ノ改良ヲ期シ完成ヲ計ラント欲セハ先ツ事ニ從事スル者ヲシテ其事務ニ訓練セシムルヲ務メスンハアルヘカラス否ラサレハ獄則如何ニ完備ナリト稱スルモ建築如何ニ善美ナリト謂フモ苟クモ局ニ當ルモノニシテ其人ヲ得サレハ美績好果ヲ舉ケンコトハ到底得テ望ムヘキニアラサルナリ所謂工其事ヲ善クセント欲スレハ先ツ其器ヲ撰フノ理ニテ人物ノ訓練養成ハ事業改良ノ最モ急務タラスンハアラサルナリ從來ノ經驗ニ由テ之ヲ觀レハ世人一般ノ感想ハ尙ホ監獄ヲ舊牢屋視シテ幾分力之ヲ輕蔑スルノ傾ナキニアラス從テ之ニ從事スル官吏ノ如キモ等シク同一官吏ニシテ他ノ官吏ニ比スレハ往々其尊信ヲ缺クトコロナキ能ハサルモノ、如シ是レ實ニ監獄事務ノ一大不面目ニアラスヤ監獄管理ハ

一ノ學科ナリ而カモ一ノ高尙ナル專門ノ科學ニ屬ス監獄管理ハ一ノ政務ナリ而カモ地方政務ノ中ニアリテ緊要ノ政務ニ屬ス此高尙ナル科學ヲ修メ此貴重ナル政務ヲ掌ル者ニシテ豈漫然世人ノ輕蔑ヲ受ケ其尊信ヲ缺クノ理アラザランヤ然ルニ我國ニ於テ全ク事相ノ之カ反對ニ出ル所以ノモノハ世人ノ未タ監獄ノ本体ヲ領知スルモノ少キニ由ルト雖モ一ハ亦タ斯ノ事務ノ實績顯著ナラス且ツ當局者其人ニシテ間々自ラ其地位ヲ蔑如スルカ如キヲアルニ職由セスンハアラサルナリ若シ夫レ當局者其人ニシテ能ク治獄ノ本領ヲ解シ其實務ニ通曉練達スル所アラハ着々其成績ノ顯著ナルモノアルヲ見ルニ至ルハ必然ナリ内務大臣閣下ノ監獄官練習所ヲ設立セラレタルノ趣旨實ニ此ニアリト信ス

諸君ハ典獄即チ監獄ノ支配者ニシテ最モ重要ナル地位職務ヲ占ムル者ナリ諸君ノ地位ハ之ヲ人身ニ譬フレハ猶ホ頭腦ノ如シ頭腦ノ人身ニ於テ最モ重要ノ機關タルニ同シク典獄ノ地位ハ一日モ監獄

ト相離ルヘカラス頭腦缺レヘ手足ノ運動忽チ休止スルカ如ク典獄其職務ヲ離ルレハ僚屬ノ運動ハ少クモ阻止停滯スルニ至ルノ憂ナキヲ保スヘカラス故ニ此ニ短カカラサル二ヶ月間ヲ以テ此重要ナル獄務ノ機關タル典獄ノ職ニアル諸君ヲ召集シテ練習ヲ施スハハ恰カモ頭腦チ人身ヨリ奪フカ如ク獄務ノ運動上多少ノ懸念ナキ能ハサル所ナリシ然レモ凡ソ物ノ改良ハ勢ノ異ル所之チ上ヨリ下ニ及ホスハ易ク之チ下ヨリ上ニ及ホスハ則チ難シ之ヲ上ヨリ及ホストキハ所謂屋上ニ瓶水ヲ覆ヘスカ如ク一注奔瀉ノ勢ヲ以テ終ニ事物全体ノ改良チ期スルヲ敏速ニシテ且ツ普及ナリ曾テ警官練習所ニ於テ年少ニシテ才學アル警官若干名ヲ召集シテ練習セシニ其一個人チ訓練養成スルノ目的ハ充分ノ好成績ヲ以テ之チ達シタルニモ拘ラス其施及スル所ノ範圍ハ官等ノ低ク經驗ノ淺キ爲メ終ニ豫期ノ如クナル能ハス然ルニ其後ニ至リ一課若クハ一署ノ長タル即チ事ノ重要ナル機局ニ當ル者チ召集シテ訓練セシニ其成績ハ最モ

顯著ニシテ施及スル所ノ範圍亦タ頗フル廣博ナリ所謂勢ノ異ナル自然ノ結果ニシテ下ヨリ上ニ及ホスノ難ク上ヨリ下ニ及スノ容易ニ且ツ効力アルヲ知ルヘシ是レ今回多少ノ時日監獄ノ頭腦タル諸君チ其職務ノ地位ヨリ離レシムルノ不利ナルヲ認メタルニモ拘ハラス獄務ノ改良進歩チ期スルカ爲メニ諸君チ召集スルノ止ムヘカラサル所以ニシテ内務大臣閣下ノ精神ノアル所亦タ此ニ外ナラサルヲ記憶アラレンコトヲ望ム

獄務ノ改良ハ夙ニ主務大臣ノ注意セラル、所ニシテ其今日ニ至ル業ニ既ニ大ニ舊來ノ面目ヲ更新シタルノ事實ハ今敢テ此ニ喋々スルチ要セス然レモ如何セン未タ盡ク積年ノ餘弊チ一掃シ大ニ文明ノ新主義チ適用シテ着々進歩改良ノ實績ヲ見ルニ至ラス要スルニ之ヲ他ノ事物ノ改進シタルニ比シ又進ンテ之チ歐米諸國獄制ノ完全シタルニ較フレハ頗ル幼稚ノ地步ニ立脚スルチ免レスト斷言スルモ決シテ謬言ニアラサルヘシ内務大臣閣下亦タ此ニ見ル所アリ、

遠ク獄務顧問トシテゼーバツハ氏ヲ獨逸國ヨリ聘シ特ニ練習所ヲ開キ顧問ナシテ監獄官吏ニ對シ實務上ニ理論上ニ獄務諸般ノ事項ヲ教習セシム、此機會ハ實ニ獄務改良上一大段落ヲ爲スヘキヲ論ナ候タスシテ明ラカナリ此機會ニ得難キノ好機會ナリ、諸君願ハクハ充分此好機會ヲ利用セラレ終ニ大ニ獄務改良ノ實績ヲ顯ハシ上、內務大臣閣下ノ趣旨ヲ滿タシ下、地方人民ノ冀望ニ適スルニ至ラシメシコトヲ望ム

顧問ノ講義ハ譯官ナシテ之ヲ口譯セシム思フニ語音相通セサルカ爲メニ充分相互ノ意思ヲ貫徹セシムル能ハス爲メニ諸君ヲシテ隔靴搔痒ノ感ヲ抱カシムルナキヲ能ハサルヘシ然レ這ハ語音相通セサル自然ノ結果ニシテ亦タ奈何トモスヘカラス要スルニ顧問ノ精神ハ一意我カ帝國政府ノ爲メニ盡シ、練習生ナシテ成ルヘク多ク得ル所アラジメント欲スルニ外ナラサルヘキカ故ニ諸君ニ於テモ能ク此精神ノアル所ヲ了承シ多少隔靴搔痒ノ感アルモ姑ラク之ヲ忍

ンテ謹聽セラレンコトヲ望ム老實持重ノ者モ學校等ニ入レハ動モスレハ輒チ生徒ノ氣ヲ起シ或ハ不平ヲ鳴ラシ無責任ノ舉動ヲナスニ至ラントス此點ハ豫メ充分ニ諸君ノ注意アラントヲ望ム

諸君カ練習所ニ於テ研修セラレタル事項ニシテ其善良ナリト認めタル所ノモノハ諸君ノ職權ニ由リ若クハ相當ノ手續ヲ以テ實行シ得ヘキ限リハ成ルヘク之ヲ實行スルニ至ラシメントヲ望ム善ハ則チ善ナリト雖モ地方ノ事情之ヲ許サス議會ノ牽制スル所トナルカ爲メニ亦タ奈何トモスヘカラス故ニ斯クノ如キコトハ學問ノ爲メ之ヲ聽クハ可ナリ實行センカ爲メ之ヲ聽クモ其甲斐ナシト謂フカ如キ自棄心ヲ最初ヨリ胸中ニ貯ヘテ聽講スルカ如キコトアリテハ折角監獄官練習所ヲ開設セラレタル趣旨モ水泡ニ属シ諸君モ亦徒勞タルヘシ若シ夫レ地方經濟之ヲ許サレハ徐々改良ノ歩武ヲ進メ終ニ其目的ヲ達スルニ至ルヲ俟ツモ改良實施ノ準備ハ立ロニ之レニ着手スルノ覺悟ナカルヘカラサルナリ之ニ反シテ其講演ス

ル所我國ノ法律規則外ニ渉ルコトハ唯我參考トシテ聞置クヘキコト勿論ナリ

監獄法及ヒ實務練習ハセーバツハ氏之ヲ擔當シ刑法々理ハ穗積博士之ヲ講述シ予モ一週一回ハ必ラス出席シテ職務上ノ事項ニ就キ講述スル所アルヘシ本邦監獄則ハ既ニ諸君ノ充分了知セラル、コトナリト信ス故ニ別ニ講師ヲシテ之ヲ講述セシムルノ必要ナキヲ認メ今回ハ故ラニ之ヲ省キ之ニ代フルニ質疑會ナルモノヲ以テセリ而シテ疑義ノ決セサルモノハ警保局長ニ對シテ質疑ヲ起シ局長ハ局議若クハ省議ヲ盡シテ之ニ回答スヘシ質疑會ニ於テハ討論ノ通弊トシテ動モスレハ高遠ニ馳セ浮華ニ流ル、コトナキ能ヘス論辨ハ實着チ旨トシ實際必要ノ事項ニ限定スルヲ要ス高尙浮華ノ空論ハ嚴ニ之ヲ禁遏スヘシ絶テ無クシテ稀レニ有ルホトノ假例ヲ設ケテ喋々討議スルカ如キハ務メテ之ヲ避ケサルヘカラサルナリ是等ノコトハ諸君ノ既ニ飽マテ了知セラル、所ナリト信スレハ聊カ敢

テ一言ヲ述ヘテ諸君ノ注意ヲ請フ要スルニ貴重ナル質疑會ヲシテ徒ラニ口舌ヲ弄シ辨論ヲ闘ハスノ討論會場トナルカ如キコトナカラシテ望ム

獄制ノ基ク所ハ刑法ニアリ故ニ司獄ノ局ニ當ル者ハ必ラス先ツ刑法ノ規程ニ通曉セサルヘカラス然レバ僅々二ヶ月間ニ於テ盡ク之ヲ研究シ了スルハ固トヨリ爲シ能フヘキコトニアラス且ツ諸君ハ既ニ本邦ノ刑法ニ通曉シタル人ナルヲ信スルヲ以テ今回則チ第一期ニ於テハ先ツ刑法々理ノ大体ヲ研修セシムルコトハナセリ、法理ノ歸着スル所ハ刑法及獄制ノ生スル淵源ニシテ之ヲ研修スルハ諸君ノ實務上ニ取リテ最モ利益多キコトナリト信ス日本ニ於テハ獨リ監獄官吏ノミナラス一般官吏社會ニ就テ之ヲ見ルニ未タ完全ナル秩序的教育ヲ受ケタル者甚タ鮮ク殊ニ警察監獄官吏社會ニ於テ最モ其甚シキヲ見ルモノ、如シ且ツ從來我國ニ於テハ監獄警察殊ニ警察ノ主義ハ武斷主義即チ唯テ鬼面ヲ蒙リテ人ヲ威嚇スルコト

以テ主眼トナシ從ツテ之ニ職ヲ奉スルモノ、如キモ一ニ武力アルヲ以テ足レリトシ教育ノ有無ハ殆ンド之ヲ不問ニ付シタルノ傾向ナキニアラス監獄ハ警察ト兄弟姉妹ノ關係ヲ有スル者ナルヲ以テ從ツテ其執ル所ノ主義モ今日迄ハ抑壓威嚇是レ旨トシ其奉職スル人物ノ如キモ割合ニ教育ヲ受ケタル者ニ乏シキハ掩フヘカラサルノ事實ナリト謂ハサルヲ得ス今ヤ封建未開ノ世ト異ナリ人文ノ進ムニ從ヒ何事ニモ無教育ノ人ハ終ニ社會カ齡スルヲ屑シトセサル、時世トナリ事物ノ改良進步ハ完全ナル教育アル人ヲ俟ツテ始メテ其目的ヲ達スルコトノ爭フヘカラサルヲ認ムルニ至レリ此際豈ニ獨リ警察監獄ニ於テ完全ノ教育アル者ヲ要セサルノ理アラシヤ況ンヤ一科ノ專門ノ監獄管理事業ニ於テチヤ我國軍事ノ進歩シタルニ其制度ノ宜シキヲ得タルニ由ルコト勿論ナリト雖モ人物養成法ニ注意ヲ用ヒタルコト之レカ重モナル原由ナリト信ス則テ其方法ノ周密ナル教導團アリテ下士ヲ養成シ士官ハ士官學校或ハ幼

年學校ニ於テ多年之ヲ訓練シ或ハ遠ク人ヲ歐洲ニ派遣シテ留學セシムルアリ殊ニ監軍ノ設ケアリテ特ニ軍事上ノ教育ニ關スル事項ヲ掌ル等其用意實ニ到ラサル所ナシ軍制ノ進歩ハ實ニ教育ノ効與ツテ最モ大ナリト謂フヘシ是ヲ以テ見ルモ獄務ノ改良ヲ計ル上ニ於テ先テ教育ノ必要ナルハ多辨ヲ要セスシテ明ラカナリ
獄務改良ノ上ニ於テ先ツ教育アル當局者ヲ要スルノ理由ハ上來陳述スル所ノ如シ諸君ハ獄務ヲ統括スルノ任ニアル人ナリ故ニ諸君ハ必ス先ツ躬自ラ卒先シテ教育ヲ以テ其部下ヲ督シ教育ニ由ツテ獄務ノ改良進步ヲ計ルノ方針ヲ取ルノ覺悟ナカルヘカラス看守ノ如キハ其等級モ低ク其俸給モ寡小ナルカ故ニ固ヨリ教育有適當ノ人物ヲ得ルノ困難成ハ勿論ナリト雖モ多數ノ中ニハ往々無教育ノ甚シキ者ナキニ非ラス此等ノ徒ハタトヒ俄カニ悉ク之ヲ變更スル能ハサルモ漸次教育主義ノ方針ヲ以テ改良ノ計畫アラゾヲ希望ム教育ト云フモ敢テ知識即チ物ヲ理解スル能力ノミチ指シテ之ヲ稱

スルニアラ、ス勤勉事ニ從ヒ、嚴正ナル紀律ニ服スルヲ知ルモ、亦タ教育ナリ故ニ將來點檢訓授等ハ際ニ於テハ深ク此點ニ注意セラレ其部下ヲ薰陶シテ自然嚴正ナル紀律ノ下ニ服スルノ習性ヲ養フニ至テシメ、ンゴトヲ冀望ス之ヲ要スルニ治獄ノ事タル一ノ專門科學ニシテ而モ最も重要ナル一ノ政務ニ屬ス地方政務ノ中ニアツタモ經費ヲ要スルコト最も多ク從ツテ議會ノ注目スル所亦タ尋常ニアラス願ハクハ將來一層治獄百般ノ事務ヲ改良シ大ニ其面目ヲ一新シ着々實績ヲ擧クルニ至ラシムルハ決心ヲ以テ斯ノ重要ナル務ニ從フハ覺悟アラ、ンコトヲ

我國ニ於テハ動モスレハ輕々シク官吏ヲ交迭スルノ傾キナキニアラス警察ヨリ轉シテ土木ニ入り勸業ニ移リ監獄ノ吏員トナル等流轉シテ恒ナシ是レ或ハ八宗兼學濟々タル多能ノ士ノ多キニ由ルコトナルヘシト雖モ交迭ノ頻繁ナルハ事物改良ノ上ニ於テ最も然ルヘカラサルコトナリト謂ハサルヲ得ス況ンヤ一科專門ノ監獄事業

ニ於テオヤ將來獄務ニ從事スル者ハ須ラク終身其職務ニ盡クス所謂宗旨家氣取リヲ以テ其職ニ從事スルハ覺悟ナカル可カラス或ル縣ニ於テハ僅々六年間ニ於テ典獄ノ交迭ヲ行フコト五回ノ多キニ及ヒ未タ獄務ノ方針ヲ知ラシムルニ遑マアラ、シテ忽チ獄務ニ經驗ナキ屬官警部ヲ以テ之ニ代ハラシムルニ至ルモノアリ斯クノ如クニシテ如何ソ獄務ノ改良ヲ期スルヲ得ンヤ典獄交迭ノ事ニ關シテハ既ニ地方長官モ本省ノ精神ノアル所ヲ了知シ居ルコトナリト信スルヲ以テ諸君ハ長ク其職ニ止マルノ精神ヲ以テ將來益々獄務ノ改良事業ニ熱心盡心アラ、ンコト企望ニ堪ヘサルナリ練習所開設ノ趣旨ヲ開陳スルニ當リ聊カ將來ノ希望ヲ陳ヘテ諸君ノ清聽ヲ煩ハスコト爾リ